



市民病院 医事課長
とくなが たかし
徳永 隆

ワンポイント紹介

91
きゅうじゅういち

市民病院の医療事務を行っています

◎ 医事課 [市民病院 1階]

医事課は、受付や案内などの窓口業務、医療費の計算や請求業務、カルテなどの診療情報の管理や個人情報の開示手続業務、健診センターの受付業務を課長以下2係67人（委託職員含む）のスタッフで担当しています。

窓口業務は、病院の顔としての役割がありますので、患者さんが気持ちよくスムーズに受診できるように心がけています。

医療費は、国が定める診療報酬に従って計算しています。特に入院費用は、1日当たりの医療費が設定され、全国どここの病院でも同じ医療が受けられることを目指した制度、「診断群分類による包括評価（DPC制度）」を導入しています。

カルテなどの診療情報は、後々の治療に必要なことや、個人情報に記載されていますので適切に管理しています。

平成21年からは、医療情報の共有化や医療の安全性向上のため、コンピューターで診療情報を管理する電子カルテを導入しています。

健診センターは、人間ドックなどの総合的な健康診断のほか、年々、受診者が増加傾向にある脳ドックや女性特有のがん検診を行っています。

これらさまざまな業務がありますが、ご不明な点などがありましたら、お気軽にスタッフまでご相談ください。

【お問い合わせは】

市立市民病院

☎(24) 3000 (代表)

医療情報管理係 内線391

医療庶務係 内線395

『声のラン』～声の「花」を咲かせましょう！

声②

市の「ゆるキャラ」を製作し、グッズなどを販売して千歳をPRしてはどうか。

「ハスカップまん」、「空港くん」など、各世代に受けるキャラクターを一般公募することが良いと思います。

「ゆるキャラ」で千歳をPRしては

《40歳代女性》

笑合え②

「ゆるキャラ」は、地域おこしや観光PR、名産品の紹介などを行うときに使うマスコットキャラクターのことです。

滋賀県彦根市の「ひこやん」や、平城遷都1300年祭の「せんとくん」などが全国的にも有名です。

市の公式なマスコットキャラクターはありませんが、サケのふるさと館の「サモン君」、千歳JAL国際マラソンの「ラン坊ファミリー」、支笏湖ヒメマスカラクター

の「チッピーさん」などが各施設やイベント、ご当地グルメの魅力を発信しています。このうち「サモン君」は、市外のイベントにも参加して、市の観光PRも担っています。

現在、市内の団体によって、新たなマスコットキャラクターづくりが進められています。市は、これらの団体の動きを考慮しながら、ゆるキャラを活用した市のPRについて検討していきます。



サモン君

観光振興課企画振興係
☎(24) 0377

市の組織には、91種類の課（セクション）があります。（平成24年10月1日現在、派遣職員の所属を除く）皆さんは、市役所がどのような「しごと」をしているのかご存じですか？



市章の「ち」は、「ち」以外に何を表しているの？

【ワンポイントメモ】

市は、千歳の魅力をPRするため、観光のホームページを新たに作成しています。新しいホームページでは、市内の観光スポットなどを紹介する動画や写真を数多く掲載しています。11月下旬に公開する予定です。ぜひ、ごらんください。

案内

「いまさら、なかなか聞けないわ」ということはありませんか？小さなことでも、正しく理解していただくために、「イマハナ」コーナーでは、皆さんのささやかな疑問に答ええます。

この市章は、ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、北海道を代表する空港を表すとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿を描いています。選考時の講評によると、中央下の丸抜き部分は「円満」を、中央の十字は「交通文化産業の要衝」を表しています。

この図案は、昭和27年に町制施行10周年を記念して公募により町章として制定しました。その後、昭和33年の市制施行により市章になりました。

【詳細】総務課総務係 ☎(24) 0109